

製造計画書（可燃性ガス冷媒又は毒性ガス冷媒）

1 製造の目的

種類	製氷	冷蔵	冷凍	冷房・暖房	化学用	試験・研究	その他（ ）
用途							

2 製造設備の種類

定置式	直接膨張式	() 段圧縮式	往復動式	水冷式	ユニット型
移動式	間接式	() 元冷凍式	回転式	空冷式	
車両番号 ()	ブライン ()	ヒートポンプ式	スクロー式	蒸発式	非ユニット型
車種 ()			遠心式		

3 1日の冷凍能力

トン（計算式は別紙 に示す。）

4 製造設備の明細

(1)要目

番号		
型式		
冷媒ガスの種類		
基準凝縮温度		
許容圧力 (MPa)	高压部	
	低压部	
備考		

(2)圧縮機の性能

番号		
型式		
冷媒ガスの種類		
圧縮機の種類		
気筒内径 (mm)		
行程(mm)		
歯形係数		
気筒数		
回転数 (rpm)		
ピストン押しのけ量 (m ³ /h)		
原動機定格出力 (kW)		
製造所名		
安全装置	種類	
	口径(mm)	
	作動圧力 (MPa) 又は溶融温度	
	材料	
備考		

注) 安全装置の種類

バネ式安全弁 ; S、高圧遮断スイッチ ; HP、高低圧遮断スイッチ ; DP、可溶栓 ; FP、油圧スイッチ ; OP、断水リレー ; WP

(3) 高压部容器

凝縮器	番号			
	型式			
	設計圧力			
	設計温度			
	シ ェ ル 型	外径×長さ×胴板厚 ×鏡板厚 (mm)		
		内容積 (L)		
	コ イ ル 型	鏡板、管板の形状		
		材料 (胴板・鏡板・ 管板)		
		管の外径×列数×段 数×管の長さ (mm)		
		管の材料		
	製造所名			
	安 全 装 置	種類		
		口径(mm)		
		作動圧力又は溶融温 度		
材料				
備考				
受液器	番号			
	型式			
	設計圧力 (MPa)			
	設計温度 (°C)			
	外径×長さ×胴板厚×鏡 板厚 (mm)			
	内容積 (L)			
	鏡板の形状			
	材料 (胴板・鏡板)			
	製造所名			
	安 全 装 置	種類		
		口径(mm)		
		作動圧力又は溶融温 度		
		材料		
	備考			

油 分 離 器	番号			
	型式			
	設計圧力 (MPa)			
	設計温度 (°C)			
	外径×長さ×胴板厚×鏡 板厚 (mm)			
	内容積 (L)			
	鏡板の形状			
	材料 (胴板・鏡板)			
	製造所名			
品 名	番号			
	型式			
	設計圧力 (MPa)			
	設計温度 (°C)			
	外径×長さ×胴板厚×鏡 板厚 (mm)			
	内容積 (L)			
	鏡板、管板の形状			
	材料 (胴板・鏡板・管板)			
	製造所名			
	安 全 装 置	種類		
		口径(mm)		
		作動圧力又は溶融温 度		
		材料		
備考				

(4) 低圧部容器

品名	番号			
	型式			
	設計圧力 (MPa)			
	設計温度 (°C)			
	外径×長さ×胴板厚×鏡板厚 (mm)			
	内容積 (L)			
	鏡板、管板の形状			
	材料 (胴板・鏡板・管板)			
	製造所名			
	安全装置	種類		
		口径(mm)		
		作動圧力又は溶融温度		
		材料		
備考				

(5) 配管

区分	設計圧力 (MPa)	設計温度 (°C)	材料
高圧部			
低圧部			

(6) 止め弁及び自動制御弁

区分	止め弁、自動制御弁の区分	型式	設計圧力 (MPa)	設計温度 (°C)	口径 (mm)	材料	戸数
高圧部							
低圧部							

(7) 自動制御装置

種類	有無	作動圧力 (MPa)
低圧遮断装置		
油圧遮断装置		
過負荷保護装置		
凍結防止装置		
断水保護装置		
送風機連動機構		
加熱防止装置		

5 耐圧、気密等の性能

- (1) 材料試験等、耐圧試験、気密試験証明書
別添
- (2) 冷凍用圧縮機等耐圧試験気密試験証明書
別添
- (3) 機器試験合格証明書
別添

完成検査までに提出します。

6 製造施設の位置及び付近の状況

別図

7 製造施設の構造及び製造施設の配置

別図 () (平面図・立面図及び配管系統図) に示す。

特に図中に明示する事項	図中の番号等	特に図中に明示する事項	図中の番号等
引火性発火性の物をたい積した場所		消火設備	
火気		防液堤	
警戒標		防爆構造の電気設備	
設置室の開口部		ガス漏洩検	検出端部
機械通風装置		地警報設備	警報部
圧力計		除害設備	
安全装置		保護具の保管場所	
安全弁の放出管開口部		保安上重大な影響を与えるバルブ等	
受液器と液面計との間の止め弁			

8 製造施設の状況

(1) 火気等の状況

引火性発火性の物をたい積した場所	無			
	有	種類・量		
		冷媒設備からの距離		
火気	無			
	有	種類		
		冷媒設備からの距離		
	防火壁又は温度上昇防止措置の有無及び種類	無		
有		種類		

(2) 警戒標

表示事項	
------	--

(3) 滞留しないような構造

区分	開口部の面積 (m ²)	換気能力 (m ³ /min)
開口部のみの場合		
開口部の不足分を機械通風装置で補う場合		
機械通風装置のみの場合		

(4) 振動、衝撃、腐食により冷媒ガスが漏洩しない構造

防振措置	振止め 可撓管 防振装置 その他
突出部等の防護措置	
防食措置	塗装 その他

(5) 耐震設計

凝縮機 (縦置円筒形で胴部長さ 5m以上)	無	
	有	計算書は別紙 に示す。
受液器 (内容積 5000 L 以上)	無	
	有	計算書は別紙 に示す。

(6) 圧力計

区分	取付箇所	最高目盛	個数
高压部			
低压部			
圧縮機潤滑油			

(7) 受液器の液面計

液面計の種類	
ガラス液面計の損傷防止措置	

(8) 消火設備

消火設備の種類	能力	数量
消火器		
その他		

(9) 防液堤

受液器のない容積 (L)	
防液堤の容量 (L)	

(10) 電気設備の防爆性能

電気設備の種類	防爆構造の種類	個数

(11) ガス漏洩検地警報設備

イ

検知部の方式	
--------	--

ロ

区分	設備群周囲長さ (m)	設備群面積 (m ²)	検知部個数	警報設定値
屋内				
屋外				

ハ

検知部の設置位置	
----------	--

(12) 除害設備

イ 拡散防止の方法と吸収の方法

拡散防止措置		
除害設備の種類		
除害剤	種類	
	保有量	

ロ 保護具の種類と設置個数及び置き場所

保護具の種類	設置個数	置き場所

(13) バルブ等の基準

イ バルブ等には開閉方向を明示し、配管には液体の種類及び流れの方向を明示する。

ロ 保安上重大な影響を与えるバルブの措置

バルブの種類	個数	開閉状態の表示	液体の種類及び方向の表示	封印等の措置
安全弁				
安全弁の元弁				ハンドル撤去
緊急放出弁				
自動弁				
逆止弁				
圧縮機吐出弁				
冷却水止め弁				
ブライン止め弁				
高低圧を区分する弁				

9 冷凍保安責任者及び代理者の選任予定者

冷凍保安責任者

免状の種類

同代理者

免状の種類

10 工事完成予定日

11 工事施工業者

名称		冷凍空調施設工事事業
所在地		所認定番号
電話番号		
担当者所属氏名		

12 事業所担当者所属氏名電話番号

--

--